

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-47 施設整備事業(汚水) □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名				
					542	汚水中継ポンプ場の改修事業			
主管課	浄化センター	関連課	下水道課						
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	耐用年数を越えた汚水中継ポンプ場の再構築を図る。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	151,000千円	63,147千円						
	(国・県)	77,010千円	9,180千円				指標と評価		
	(負担金等)						指標		
	(一般財源)	73,990千円	53,967千円				評価		
	人員配置数	2.0人	1.0人						
	人件費	17,877千円	8,920千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー						目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	168,877千円	72,067千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	956円	408円	21年度					
	対象者1人 当りの経費	2,394円	1,024円	22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)汚水中継ポンプ場の改築業務量の増加。 (2)維持管理経費の削減 (3)各ポンプ場の老朽化対策							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)経験豊富な日本下水道事業団等を活用し、現職員で対応していく。 (2)改築工事で処理効率の良い最新機種を採用により、維持管理経費の削減を図る。 (3)七里ガ浜ポンプ場機器の更新工事に着工し、平成22年度完成を目指している。また、平成23年 度着工の西部ポンプ場実施設計業務を行った。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・改築更新が完了するまで、老朽化した施設の維持に万全を期す。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・ポンプ場の機械・電気設備の改築更新を補助事業で計画的に実施していく。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性			
B	有	・施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施する。			B	有			
課長名		浄化センター所長 原 秀広		部名・部長名		都市整備部 山内廣行			